

これまで(2012 年度)の活動状況

「(1)自給食料を確保するための活動-食料の安全保障支援-」

●互いに支え合うことで、自給食料を確保することが出来ました！

今年は昨年ほど長期に避難を強いられることはありませんでしたが、3つの村のグループが一時的に避難を強いられました。ミヒンガ村のグループのメンバーは、ルシェニ村に一時的に避難することがあり、ルシェニ村のメンバーが避難民を受け入れて、自宅に避難させたり、自宅近くに小さな簡易の小屋を建てて、そこで避難できるように協力しました。

また、緊急の食料援助も行いましたが、ほとんどの避難した住民や、避難民を受け入れたメンバーらは、自力でこれまでの活動のなかでの蓄えを使って、お互いが協力することで食料を確保することができました。実際に、テラ・ルネッサンスで避難した住民全員に日々の食料を届けることはできませんので、このように各村のグループが互いに協力し合える状況が整ってきたことは、大きな成果だと思っています。

一時的な避難を強いられたグループもありましたが、グループ間の相互扶助とテラ・ルネッサンスからの一時的な食料援助によって、全員が武装グループの襲撃に合うことも、食料難に陥ることもなく、安全に生活することができました。



各グループのメンバーらの相互扶助活動を促進するように働きかけてきた当会の
ンゴスタッフ

(2)収入源を確保するための活動-収入向上支援-

●紛争被害者の女性が洋裁技術を習得

今年、新しく性的暴力を受けた女性 26 人 に対しての職業訓練を開始しました。訓練期間は 9 か月間でこれまでより少し長めに設定し、授業の合間にカウンセリングなどを行ないながらミシンの扱い方から、洋服、アフリカンドレスの作り方などを学んでもらいました。

対象者は親を失った孤児であり、その後、性的暴力により子どもを身ごもり、その相手に 見捨てられた 15 歳～ 24 歳の少女と女性です

●試行錯誤しながらの洋裁店経営

また、昨年、洋裁店の開店支援をした 5 つのグループでのフォローアップも続けています。1 グループ 5 名～10 名で、共同でお店を運営していますが、ルシェニ村で洋裁店を始めた 6 人は、常にお客さんが来ている状況で、全員がとても忙しく働くことができています。

クリスマスの時期には、一人当たり 100 ドル前後の収入を得ることができました。この額はコンゴ東部では破格の現金収入です。この時は、みんなお店に泊まり込みで仕事に打ち込んでいました。

平均して、30～50ドル程度の収入は得ることができています。



●子ども兵の徴兵を予防する活動

子ども兵が徴兵されないように、2012年1月から6名の正面(うち、3名が元子ども兵)に対して、溶接の職業訓練を行っています。この訓練を9か月間行い、鉄製の窓やドアの修復方法や、炭ストーブの作り方を学び、現在、以前に溶接の訓練をした元子ども兵たちと同様、この技術を使って、収入を得られるように、支援を行っています。



(3)心理社会的な安定を促す活動-心理社会支援-

●個別カウンセリングの体制を整えました

今年は、テラ・ルネッサンスのコンゴ事務所の所長でもあり、地元で長い間、支援活動をしてきたテオフィーに加えて、ボランティアスタッフにもカウンセリングサービスを手伝ってもらいました。各村の自給食料を確保する活動のグループのメンバーの一人に調整員になってもらい、村々で何か問題があったり、性的な暴行を受けた住民がいた場合、彼女を通してテラ・ルネッサンスのスタッフが相談にのれるような体制を整えました。



各村の活動地を巡回する道中

過去にレイプ被害にあったり、両親を殺害されたりなどの紛争被害者もたくさんいますが、現在進行形で多くの人々が様々な危機やリスクにさらされている状況 ですので、できる限り、多くの方々の相談に乗れるようにしていきたいと考えています。(今年からはテラ・ルネッサンスの支援対象者として登録していない、地域住民もカウンセリングは受けられるようにしています。)

